☆いよいよ強行採決の戦争法案が施行される時期が近づき、
国民の運命を左右する参院選を目前に控えて日本中が殺気立っていますね。
阿波根さんなら、こんな時、何をどのように発言されるかと思いつつ参加しました。
そして新たに元気をいただきました。あの阿波根さんの朗読劇は本当にタイムリーでした。
いろいろなご準備を心より感謝いたします。

☆1）抗議集会・・・名嘉實議員の訴えに驚いた。24 億円もかけている。基地の島にしようとしている。
2）石原昌家先生のお話はわかりやすく、阿波根さんの人柄がよくわかった。なんてすばらしい
尊敬すべき人だと思った。
3）お手紙もさらに阿波根さんの人間としての深さを知った。
4）朗読劇　伊江島の人々の苦難を見、阿波根さんの語りにふれ、涙が流れた。
5）「父母のたった一人の可愛い昌健よ・・・。貴方を憎む人のためにも祈って下さい。」
なんという崇高な人だろう。深い愛が深い悲しみをこえるんだ。

☆朗読劇は大変よかったと思います。阿波根さん役の方は、体格や表現の仕方が大きく、阿波根さんの異なった中にも、内に秘めた阿波根さんの情熱が伝わってきてよかったです。
謝花さん役の安保さんは、さすが謝花さんの心を自分のものになさっていて、内から出てくる情熱と優しさが伝わり、唄と踊りにもとても感動しました。この企画を心から感謝します。伊江島の人々、特に若い世代や子ども達にも観て頂きたかったです。

☆昌鴻さんの人柄、カサの話や戦時代でも、牛や草花を思うことを忘れない人であったことなど、
やはり偉大な人だと思いました。

☆朗読劇の内容に本当に感動しました。阿波根さんの言葉、謝花さんを見る目、2人の絆を再現されているように感じました。阿波根さんの車イスをおす役を任され、舞台そでで笹岡さんの肩もみをしていました。そのとき、阿波根さんの方を触っているような錯覚を覚えました。
演劇、演者を通し、「追体験」するということを、本当の意味で実感できたように思います。
支援者の皆さんでつくり上げた舞台に参加でき幸せです。
いつも以上に阿波根さんのことを感じ、かつ、謝花さんの人柄を感じられた学習会でした。

☆弟に声をかけられ参加させてもらいました。
過去の訪沖は観光目的でしたが、今回は観光色はなく、感動色でした。
九州（福岡）在住で、今回の様に、沖縄戦の悲惨さを、この年齢（71歳）で知ったことが、いかに今まで、無関心だったかを通説に感じた旅でした。

☆「花ぬ美らさ」は、沖縄の現実ですので、どーでもいい学校の授業や学生が寝ている授業は
やめにして、歴史の授業として、沖縄にはこんな昔があったんだよと、朗読劇をたくさんの人に
見せてあげられればいいなと思いました。同じスタッフでは難しいでしょうが、工夫さえすれば
方法はいくらでもあると思いますので、できないかなと思いました。
1Fに飾ってあったお話に出てくる写真なんかも、スライドにして映してもインパクトがあって良いなと思いました。相澤さん!また次の作品をお創り頂いて、島の皆さんや運動に関わる皆さんとで上演できれば、また一層運動のパワーアップになるなと思いました!皆さん!本当にお疲れ様でした!1回で終わらせないで下さいね!（相澤さん）終わった後のエピソード語りも良かったです!

☆もう少し地元の動きを知りたいです。

☆機会を与えて下さったことに感謝です。

☆琉球朝日放送の「国に訴えられた知事」を観ることが出来てよかったです。
朗読劇は、伊江島の歴史などがよくわかりました。

☆朗読劇・・・私は生前の阿波根さんを存じ上げないので、ご本人がいるみたい?という感想は
持たなかったのですが、きっと再現されていたのでしょう。
石原先生のせっかくの講演がかすんでしまう位の説得力を持つ劇だったと思います。
伊江島だけでなく本土でも再演して頂きたいと思いました。

☆阿波根さんについていろいろ学ばせていただきました。多くの人々から尊敬されていることが
伝わってきました。伊江島の闘いはすさまじいものであると改めて痛感しました。
もっと若い世代にも伝わるとよいと思いました。特に本土の人に。
それにしても伊江島の現状は看過できないものがあります。
もっと訴えて、伝えていかなければと思います。朗読劇はすばらしかったです。

☆沖縄の過去、現在、未来を共に考える機会でした。阿波根さんの働きが、その思い、意志が
今の沖縄及び日本の良識として広がって行く事を願います。

☆朗読劇で聞いたことと読んだことが感動と共によみがえり、心がふるえてしまいました。
謝花悦子さんのことも改めて戦争によって人生を変えられたことを知りました。
おじいの居ないわびあいの里で、これからもお元気でいて下さいと心から思っています。
たくさんのボランティアや参加者が来年もこの伊江島に来てほしいです。勿論私も参加します。

☆来て良かった。阿波根さんの珠玉の言葉の数々は全て道理があり、納得できます。
説得力があります。勇気づけられます。阿波根さんのことをもっと知りたい、もっと勉強したいと
思います。朗読劇も素晴らしかった。セリフのひとつひとつ聴きもらすまいと緊張しました。
この朗読劇は全国に広めていただきたいと思いました。
今回お世話して頂いた多くのスタッフのみなさん、ありがとうございました。
謝花さん、一日も早く元気になられてご活躍下さい。

☆「5本の指」の話。今の情勢にピッタリ。辺野古のたたかいもこの精神を生かして、オール沖縄の広がりを暗示しているようでした。

☆朗読劇「花ぬ美らさ」はとても良かったです。全国でも上映されるといいです。

☆知らないことが多く、びっくりすることが多かったです。
阿波根さんのことは知っていたのに、沖縄は遠いなの気持ちで、遠い国の感じでした。
昨年、実際に来島し、嬉野さんの本にも出会い、ぜひ3月はと思っていました。たくさん一人一人のことばが心に残ります。学びきれないほどのことでいっぱいです。

☆トーク（夜）がよかった。

☆参加者全員が平和に向かって一致している事を深く感じました。
「花ぬ美らさ」には心をゆさぶられました。平和は無関心ではなく、勝ち取るもの、

戦い続けるものだと強く感じました。

☆「5本の指」これは毎日の生活で実行できる事であり、当たり前の事であり、自然であると思いました。当たり前の事が分かっていない自分に気づかされました。

☆朗読劇が素晴らしかった。入場料があってもよいくらいでした。
阿波根さんが復活されたかのようです。全国各地で上映してほしい。

☆朗読劇が本当にすばらしかったです。次の世代がところどころで活躍している姿に
胸があつくなりました。本当にこれだけのことをされるには大変だったと思います。
ありがとうございました。

☆舞台はシンプルでとても伝わってきました。「米軍と農民」（岩波新書）は読む度に
深い感動に打たれ、是非、他の人に読んでほしくて渡してきました。
この舞台を是非、NHKのEテレに放映してほしい。新しい芽をふく人たちが
どれくらい大勢いるでしょう!

☆いつも異なる企画で、阿波根さんをもっと良く知ることができたと思う。

☆資料調査活動報告を聞きながら、多くの方々が時間と労力をかけて協力しておられる
実情が良く分かりました。

☆朗読劇”花ぬ美らさー阿波根昌鴻さんの闘い”おじいの歩みが眼前に彷彿させる
皆さんの演技は最高でした。

☆「平和と戦争」という尺度では語ることができないこの現実に立って何を見るのか?
戦争ははじまっていないのではなく、終わっていないのだと強く思う。
「花ぬ美らさ」を見て、「5本の指が・・・団結すれば何事も簡単にできる。ですから、
わたしたちは心を一つにして、みんな仲良くしていく」というメッセージが印象に残った。
沖縄戦での最も悲惨な経験の一つ、「集団自決（集団死）」のことを思い返す。
ここ伊江島でも「みんなで死のう」という軍隊の論理に人々が巻き込まれていった。
その反対は「みんなで生きよう」（一人で生きるのではなく）これがなかなか難しい。
みんなそれぞれ違うので、これがたいへん。「みんなで生きる」にはどうすればよいのか?
たぶんメッセージのように「みんな仲良くしていく」ことで「心を一つに」することができる?
心が幾つかはわからないが、少なくとも気持ちを通い合わせることはできるだろう。
それでは、具体的には?
人と人との関わり方を見なおすことが必要である。何人かの人の発言にあったように、
「無関心」ということが最大の敵であるとすれば、敵を味方に変えることが、非暴力の
たたかいであることを学んだ。ありがとうございました。